

Annual Report 2018-2019

2018年度 活動レポート



ご挨拶 Greeting

2018年は熊本YMCA創立70周年の節目を迎え、会員運動の更なる拡充とYMCAブランドの再構築に取り組んだ1年となりました。また、熊本地震により困難な中におられる人々に寄り添う支援活動にも継続して取り組みました。国内外の至る所で起こる自然災害、希薄化する人間関係や、個人や自国の利益優先等、平和が脅かされる世界状況の中、自分のためではなく誰かのために生きること、隣人にいかに寄り添っていかかが問われています。

ブランドスローガンである「みつかる。つながる。よくなっていく。」を掲げ、互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創ることを目指していきます。また、「熊本YMCAの使命」を再認識し、すべての活動を通して、社会から共感と信頼を得る団体として、本年も歩を進めてまいります。

引き続き皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

総主事 岡 成也

みつかる。つながる。よくなっていく。

あなたが、したい何かを「みつける」ために。

あなたが、「つながりたい」誰かを探すために。

そして、あなた自身の人生というものがもっと「よくなる」ために。

ひとりが「よくなる」と、その人と出会った誰かがうれしくなる。

そして、「よくなる」の連鎖は、やがて社会や世界を変えていくチカラとなる。

平和を形にしていく原動力となる。

YMCAは互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創っていきます。

2017年10月、日本のYMCAは未来に目線を上げ、これからも多くの人々に選ばれる存在となるために新しいロゴとスローガンを掲げました。

熊本YMCA2019年度 基本聖句 Scripture Verse for 2019

隣人を自分のように愛しなさい。 マタイによる福音書22章39節

You shall love your neighbors like as yourself. Matthew 22:39

熊本YMCA2019年度 運営方針 Policy for 2019

以下Ⅰ～Ⅲの大きな柱のもと2019年度の運営を行ってまいります。

Ⅰ. 「地域支え合い運動3カ年計画」(2017～2019)

- 1 運営委員会による熊本地震支援活動の推進
- 2 学校と連携したボランティア組織の再構築
- 3 新ボランティア運動3カ年計画(2020～2022)の策定
- 4 アジアを中心とした国際協力活動の推進
- 5 諸団体とのネットワークを活かした地域貢献

Ⅱ. 「事業復興3カ年計画(2017～2019)」《愛・共感・信頼》

- 1 事業再編、経営強化、収支構造の改善
- 2 行政との連携を強化
- 3 関係団体との連携、協働を強化
- 4 基幹事業の構造改革・経営基盤の強化
- 5 ブランド力の向上

Ⅲ. ポジティブネットのある豊かな社会の実現

- 1 維持会員の増強
- 2 ユース世代が参画できるプログラムの開発
- 3 グローバル社会の多様性を尊重
- 4 新たな豊かさを体現できる人財の育成
- 5 グランドデザインの構築

YMCAとは

About YMCA

YMCAとは、Young Men's Christian Associationの略称で、キリスト教を基盤とする非営利公益団体です。世界120の国と地域で、およそ6500万人がYMCAの活動に関わり、日本国内では「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに、地域や人々のニーズに合わせた多様なプログラムを提供しています。

YMCAは1844年、産業革命下のイギリス・ロンドンで、同世代の仲間たちの人格的成長や生活改善を願うジョージ・ウイリアムズ(1821～1905)ら12人の青年たちによって組織されました。

日本最初のYMCAは1880年(明治13年)、東京で創設。現在では沖縄から北海道まで、約14万人の会員とともに活動しています。熊本YMCAは戦後間もない1948年に誕生し、公益財団法人、学校法人、社会福祉法人の3法人で運営されています。

熊本バンドとYMCA

1876年(明治9年)1月30日、熊本洋学校の教師L.L.ジェーンズの教えを受けた生徒が「キリスト教で社会を変革しよう」と、熊本市の花岡山で誓いを立てました。後に彼らは京都の同志社に入学し、熊本のグループという意味で「熊本バンド」と呼ばれるようになりました。

熊本バンドのメンバーのうち、小崎弘道が日本で初めて創設された東京YMCA初代会長に、宮川経輝が大阪YMCA初代会長、原田助が神戸YMCA初代会長にそれぞれ就任、海老名弾正が同志社大の学長・総長になるなど、熊本バンドは近代日本の形成に大きく貢献し、日本におけるキリスト教プロテスタントの源流の一つとなりました。

熊本YMCAは、この熊本バンドの精神を受け継ぎ、地域発展のための活動に取り組んでいます。また、毎年1月30日早朝に、キリスト教関係者が集い、熊本バンドの志を偲ぶ早天祈祷会を開催しています。



熊本バンド結盟143周年記念早天祈祷会



あそぼうキャンプ

野外教育事業 Outdoor Education

熊本地震被災者支援の一環で「こども応援プロジェクト」を継続し、多くの子どもたちがキャンプ体験を味わいました。

5月3日(木)～5日(土)に西日本地区リーダー研修会(福岡)、10月6日(土)～8日(月)に全国リーダー研修会(仙台)へ学生リーダーを派遣しました。他県のYMCAリーダーとの交流を通して多くのことを学び、体験型のグループワークによるリーダーシップトレーニングに取り組みました。

6月と10月にながみねファミリーセンターの「スマイルキャンプ」、7月にみなみセンターの「サザンキャンプ」、3月にはむさしセンターの「311チャレンジキャンプ」を実施しました。子どもたちや家族のコミュニケーションを深めたり、防災の学びを盛り込むなど、それぞれ特色のあるキャンプとなりました。



西日本地区リーダー研修

東日本大震災、九州北部豪雨災害、熊本地震で被災した子どもたちのこころのケアを目的とした「あそぼうキャンプ」は8月17日(金)～19日(日)に実施し、7回目を迎えました。医師グループ、心理グループ、キャンプ専門グループ、キリスト教系グループ、ユースリーダーグループと、全国の専門家の協力を得て、毎年参加している子どもも初めての参加者も楽しめるキャンプとなりました。

熊本県立盲学校、ワイズメンズクラブ、熊本県自閉症協会や医療系学校、ボランティアに支えられ継続して実施している「ポニーキャンプ」や「コスモスキャンプ」。視覚に障がいのある子どもたちに様々な体験をしてもらう「ポニーキャンプ」を7月26日(木)～27日(金)に実施。天草でのスキューバダイビングでは、海に入ることが初めてのメンバーもいて、とても貴重な体験となりました。発達障がいのある子どもたちの「コスモスキャンプ」は8月13日(月)～14日(火)に実施。子どもたちはパートナーリーダーと共に阿蘇の大自然の中で様々なアクティビティーにチャレンジしました。



ポニーキャンプ

ウェルネス事業 Wellness (Health Education)

6月17日(日)、「全国YMCA水上安全の日」にあわせ、みなみ・ながみねファミリーの両センターでは、近隣の小学校と連携して「みんな泳げる25m運動」を実施し、参加した子どもたちは息継ぎのコツやポイントを教わりました。むさしセンターでは親子着衣泳体験会を行いました。また、熊本県下の22校・園で着衣泳指導を行い、新小学1年生を対象に水上安全ハンドブックを配布するなど、生命を守り育む大切さを伝えました。

8月16日(木)～17日(金)には、第42回全国YMCA少年少女水泳大会をアクアドームくまもにて開催。熊本での開催は16年ぶりで、全国のYMCAから158名が参加しました。

各小学校や子ども会、企業の要望を受け、レクリエーション指導者を派遣しました。8月9日(木)には、再春館製菓所の社員の子ども向けに開催されたデイキャンプ内で指導。楽しい時間を過ごして、交流を深める機会を提供することができました。



第42回全国YMCA少年少女水泳大会(熊本開催)

幼児園 Childcare

ぶどうの木幼児園では7月2日(月)、御船町落合仮設団地を訪れ、住民と一緒に七夕飾りを作って交流しました。年長組の園児11名が、「たのしくくらすように」と、復興の思いを込めた短冊を笹に飾り付けました。



グローバル教育事業 Global Education

上通センターでは、5月10日(木)より上通商栄会会員店向けの英会話レッスン「すぐに役立つ英会話」を全8回実施しました。参加者は英語でのオーダーの取り方など、接客ですぐに使えるフレーズを熱心に学びました。また、8月6日(月)には熊本大学の委託を受け、TOEICのスコアアップを目指す熊本大学職員を対象にした、短期講座を開講しました。

10月24日(水)に「上通まちゼミ」の一環で『シングリッシュ～洋楽で楽しく英語を学ぼう～』講座を実施。また、2019年1月20日(日)には「チャリティーイングリッシュクッキング」を中央センターで実施。サンマリノ出身の講師、熊本大学の留学生と、料理を通して交流を深めました。



すぐに役立つ英会話

12月25日(火)～29日(土)には、英語のアクティビティーやスピーチを通して、コミュニケーション力を高める「English Camp for Global Leadership」プログラムがYMCA東山荘(静岡県御殿場市)で開催され、熊本YMCAから高校生2名、大学生リーダー1名が参加。全国の中高生の英語レベルの高さにふれ、さらなる英語学習への意欲も湧いたようでした。

指定管理事業 Designated Management

御船町スポーツセンターでは、6月6日(水)と13日(水)に、上益城郡地域の小学校教員を対象に水泳の初級者向け指導実技講習会を行いました。9月には、滝尾小学校へ指導者を派遣し、児童を対象に全4回の陸上競技の指導を行いました。

指定管理運営を受託して1年が過ぎた桃田運動公園では、野外教育、体操教室、スポーツベシックの3つを柱に自主事業を展開し、かけっこ教室、バスケットボール体験会、高齢者向けの体操教室等を実施しました。

指定管理施設合同キャンプにも取り組みました。2019年1月4日(金)～6日(日)には、リフレスおおむた、桃田運動公園、御船町スポーツセンター、ウェルネス事業部合同で「スキーキャンプ」を実施。1月20日(日)、2月10日(日)にはリフレスおおむたと桃田運動公園、ウェルネス事業部合同で「雪遊びデイキャンプ」を実施しました。参加した子どもたちは限られた時間の中で、地域を越えて交流しました。

学校法人

専門学校 Vocational School

熊本YMCA創立70周年記念事業の一環として、6月30日(土)に介護福祉学科、11月17日(土)に児童福祉教育科の大同窓会を開催しました。両会とも約100名の卒業生が参加し、さらなる交流を深めることはもとより、現場で働くうえでの課題などの共有の場ともなりました。今後も母校を応援し、卒業生として誇りを持ってそれぞれの業界で活躍することを誓いました。



熊本YMCAでは、7月に発生した西日本豪雨災害を受けて、9月末までに22名のボランティアを派遣。9月3日(月)～7日(金)の日程で、健康スポーツ科1年生の12名が参加しました。熊本地震で多くの人から受けた支援への恩返しにと、被災した家屋の土砂を取り除く作業に取り組みました。広島平和記念館も訪問し、平和について考える機会にもなりました。



豪雨災害ボランティア

4月4日(水)、新設したグローバル・コミュニケーション科に留学生9名が入学しました。8月23日(木)、水俣市が県内の留学生を招待し、市内の高校生との異文化交流・国際理解を促進する「国際交流カフェinみなまた」に同科の留学生も参加。水俣高校生の英語によるプレゼンなどを通して、同校や水俣市の取り組みにふれました。

日本語学校 Japanese School

2018年度春期は、中国・台湾・バングラデシュ・フィリピン・ネパール・ベトナム・タイ・フランスの8か国から27名が入学。継続生52名とあわせ、合計79名でスタートを切りました。4月27日(金)には新入生を歓迎し、親睦を深めるためにレクリエーションとバーベキューを実施。秋期には100名の在籍となりました。非漢字圏の学生に対しても満足できる学生生活を提供できるように、職員一丸となってサポートしています。



ラフティング体験

台湾への修学旅行を控えた県内の高校から依頼を受け、生徒を対象とした事前研修を実施しました。11月13日(火)、台湾からの留学生5名が同高校を訪問しました。約300名の高校1年生を対象に、台湾の基本情報、観光地、旅行台湾語などの研修を行いました。

生涯学習・通信制事業 Lifelong Learning / Correspondence

9月15日(土)、社会福祉学科、精神保健福祉学科、介護福祉士実務者研修科など生涯学習・通信制の修了生を対象に、昨年に引き続き第2回となる「ホームカミングデー」を開催しました。NPO法人でんでん虫の会の吉松裕蔵さんが、生活困窮者の自立支援の現状や課題について報告。続く茶話会では、修了生・在籍生が学科や分野を越えて交流しました。

2018年度の修了生の国家試験合格率は、社会福祉士が52.4%(全国平均28.9%)、精神保健福祉士は96.8%(全国平均62.7%)と高い水準となりました。



ホームカミングデー

幼稚園 Kindergarten

4月6日(金)、YMCA熊本五福幼稚園開園式を行いました。130年という歴史と伝統がある熊本市立熊本五福幼稚園が民間移譲され、YMCAの幼稚園として新たなスタートを切りました。多くの地域住民や関係者が参加し、やや緊張した子どもたちと子どもたちの様子をあたたかく見守る保護者とともに、一歩を踏み出すことができました。

11月21日(水)、YMCA水前寺幼稚園のマラソン大会を開催。YMCA学院の健康スポーツ科の学生が初めてサポートとして参加し、園児とともに走ったり、誘導をしたりと活躍しました。別の機会には、児童福祉教育科の学生との交流もあり、専門学校とのつながりを強めました。



熊本五福幼稚園開園式



水前寺幼稚園マラソン大会

児童発達支援 Development Support for Children

2017年秋に2名でスタートした放課後等デイサービス「自由なイルカたち」には14名が在籍しています(2019年4月時点)。運動や工作、音楽などの日常活動のほか、学生や留学生ボランティアとも交流。中央センターのクリスマス祝会では、ハンドベル演奏を披露しました。

2019年1月26日(土)、発達障がい支援講演会を開催し、心理相談員の須藤真理子さんが『発達障がいが気になる子どもたちが安心して学校生活をおくるために』をテーマに講演しました。



社会福祉法人

就労支援センター Job Assistance Center

8月5日(日)に開催されたYMCA学院のオープンキャンパス「夏フェス2018」の学食体験として、参加した高校生や保護者にカフェテリアWell-Bで昼食を提供しました。また、熊本YMCA内で受注した、資料の封入や製本、清掃などの作業にも取り組んでいます。



社会福祉法人55周年 55th Anniversary of Kumamoto YMCA Social Welfare Corporation

11月10日(土)、社会福祉法人熊本YMCA福祉会の55周年を祝う式典を黒川保育園で開催しました。ミュージシャン&マジシャンの大友剛さんによる絵本の読み聞かせや音楽、マジックで100名を超す参加者に元気が届けられました。最後に、子どもたちの成長を願い、大空に150個の風船を飛ばしました。



保育園 Nursery school

尾ヶ石保育園幼年消防クラブが12月、熊本県消防関係知事表彰を受けました。同園では、8月に九州薪・木質ペレット活用協議会と薪作りワークショップを共催、1月に熊本県の「木とともに育つ環境整備事業」の補助金を活用し、園内に幼児用ボルダリングを設置するなど、森の保育園を目指しています。

尾ヶ石、赤水、永草、黒川の4園では、敬老会などの催しで踊りや太鼓を披露したり、近隣の仮設団地を訪問するなど、地域とのつながりを深めています。



薪作りワークショップ

防災の取り組み Disaster Prevention

4月22日(日)防災まちあるきシリーズ「もしもの時にin上通」を開催しました。『救急車が来るまでにできることは』がテーマ。AEDの使い方はじめ、応急手当の方法、災害時の心構えなど、上通センター運営委員で防災士・熊本市応急手当指導員の的場幸雄さんによる指導が行われました。



むさしセンターが災害時の支援拠点・情報発信拠点となり、地域住民の方々に必要な支援・協力ができるように備えておくことを目的とし、7月17日(火)に防災倉庫を設置しました。災害時支援で活用する備品として、倉庫内に発電機、水中ポンプ、カセットコンロ、カセットガス、ランタン、シュラフなどを保管しています。

9月8日(土)、帯山西校区防災ワークショップに東部センターの職員がファシリテーターとして参加しました。帯山西校区の小学校6年生約100名が参加。授業の一環として、地域住民と一緒に防災について学びました。子どもたちが参加者にインタビューしながら災害が起きる前に備えておくものや心構えなど、防災・減災について理解を深めました。



熊本県立大学もやいすと防災ジュニア育成

10月15日(月)、20日(土)、熊本県立大学1年生270名を対象にした「熊本県立大学もやいすと防災ジュニア育成講座」の講義とワークショップを職員が担当しました。「もやいすと育成プログラム」の協働は4年目。ワークショップでは、避難所運営と防災体験、防災ワークショップやキャンプスキル、熊本YMCA震災支援活動についての各項目に沿って、体験を交えながら防災意識を高め、学びを深めました。

災害復興支援 Disaster Relief Activities

6月17日(日)、ながみねファミリーセンターで、益城町住民を対象に、リーダー会主催のプール開放を行いました。仮設団地の入居者を中心に、2歳から50代まで幅広い年齢の人が参加。熊本ひがしワイズメンズクラブから参加賞が提供されました。

9月28日(金)、御船町落合仮設団地の住民より、新居引越しのボランティアの相談を受け、YMCA学院の医療事務情報管理科の学生4名、健康スポーツ科の学生3名が協力しました。大きな家具などもありましたが、協力しながら無事に新居に運び入れました。

9月1日(土)、YMCAフィランソロピー協会が、遊ぶ環境が限られた仮設団地の子どもたちに楽しい時間を過ごしてほしいと、益城町木山仮設団地の東集会所で「こどもフェスタ」を開催。参加した子どもたちはじゃんけんして勝つともらえる模擬紙幣を使って、金魚すくいなどのゲームを楽しみました。



新居引越しボランティア

ながみねファミリーセンタープール開放

地域のために 地域とともに Open to the Community

東部センターでは夏休みに地域の子もたちが安心して勉強できる環境を提供しようと、7月28日(土)～8月28日(火)の期間、ロビーを自習室として開放しました。毎週金曜日の午後は卓球台も開放し、多くの子どもたちで賑わいました。また2019年2月18日(月)、東部センターで、「認知症とともに生きるとは～介護家族が語る日々の暮らしから学ぶこと～」と題して、家族いきいき教室をささえりあ帯山(地域包括支援センター)と共催。認知症の当事者とその家族が体験を語りました。現在進行形で介護に関わる人を勇気づける内容でした。

熊本市エンゼル基金を活用して、「子育て広場わいわい」を開催しました。6月12日(火)はYMCA学院児童福祉教育科の学生がサポートのもと、中央、むさし、ながみね、みなみの各拠点で実施。親子でのボール遊びや柔軟体操、七夕にちなんだ製作やお話会で、参加した子どもたち同士で遊んだり、保護者同士の親交を深めたりしました。他にも、離乳食教室や留学生との国際交流など幅広いプログラムを提供しました。

子育て広場わいわい



熊本YMCA創立70周年記念式典 70th Anniversary of the Kumamoto YMCA

熊本YMCAは、2018年10月に創立70周年を迎えました。これを記念し、10月8日(月・祝)、ホテルメルパルク熊本で記念行事を開催しました。日本福音ルーテル大江教会牧師の立野泰博さんによる礼拝に始まり、記念式典では、関係市町村の首長ら来賓から祝辞が述べられました。

記念講演会では、日本キリスト教団神奈川教区巡回教師の関田寛雄さんが『寅さんとキリスト教～人生の喜怒哀楽を巡って～』と題して講演。関田さんは、映画『男はつらいよ』で知られる「寅さん」こと車寅次郎の助けに奔走する姿をイエス・キリストの生き方に重ねながら、キリスト教の隣人愛について語りました。

続く感謝会には、会員や職員など関係者約270名が出席。韓国、タイ、ミャンマーなど海外からのゲストが紹介されると、会場から大きな拍手が起こりました。また、ニューオリンズ・ジャズ・ハウズによる生演奏がさらに場を盛り上げ、節目を祝いました。



共に生きる社会を願って Living Together

8月3日(金)、熊本YMCA震災復興支援募金のアドバイザーで経営コンサルタントの村尾隆介さんと、NPO法人FDA理事長の成澤俊輔さんによるトークライブを中央センターで開催しました。「世界一明るい視覚障がい者」を自称する成澤さんは、「弱みも角度を変えて見れば強みになるのです」と語りました。

12月9日(日)、3回目となる熊本YMCAインターナショナル・チャリティーランを熊本農業公園カントリーパークで開催し、約1,200名が来場しました。オープニングランでは、幼稚園の子どもたちが小さな体で力走。続くファミリーラン、グループランなどの各コースでは、思い思いのコスチュームに身を包んだおよそ600名のランナーが会場を走り抜けました。益金はYMCAの障がい児プログラムのために活用されます。



2019年2月24日(日)、2月第4水曜日の「ピンクシャツデー」を前に、熊本市中心街でパレードを実施しました。ピンクのTシャツや小物などを身につけた子どもたちや学生・留学生、ボランティアやスタッフなど約100名が「いじめのない世界をめざそう」と呼びかけながら新市街およそ1kmを歩きました。

国際姉妹関係・国際協力

Partnership with Asian YMCAs

台湾YMCAで日本語を学ぶ学生たちが、夏の期間中、日本のYMCAでボランティアをしながら日本語を学び、交流するICCPJ(International Camp Counselor Program in Japan)。熊本では阿蘇キャンプを中心に、7月20日(金)から約1カ月間、台湾からユース1名の研修を受け入れました。複数のキャンプに参加したほか、ホームステイもしながら、熊本のユースと交流や日本文化を体験しました。



10月8日(月・祝)に開催した熊本YMCA創立70周年記念式典には、姉妹YMCAである韓国・大邱YMCAやタイ・チェンマイYMCA、ミャンマー・モガウンYMCAから関係者が来熊。長年熊本YMCAが支援している北部タイ山岳少数民族の子どもたちが暮らす「若竹寮」の寮生も祝福に駆け付けました。

7日(日)には、「若竹寮」の寮生・寮長と、過去にタイ・ユース・ワークキャンプに参加したOB・OGの交流会を実施。参加者一同がアカ族の歌で踊る場面もあり、和やかな会となりました。

みなみセンターでは、10月10日(水)にミャンマー・モガウンYMCAのNawJa総主事によるエイズ孤児支援活動報告会を開催しました。現地でのこれまでの活動と現在の状況について写真を使いながら説明があり、自立へ向けた支援のあり方について学ぶ機会となりました。

東ティモール民主共和国の支援

Support for Timor-Leste

9月3日(月)～6日(木)、東ティモールから2名のユースリーダーが熊本で研修を行い、ながみねファミリーセンターを中心に受入れを行いました。託麻南小学校6年生170名と交流する機会もあり、平和について共に考える時間となりました。以前から支援をしているサッカープログラムでは、メッセージフラッグやボールを届けることもできました。



東ティモール ユースリーダー研修

2019年3月13日(水)～14日(木)には、フィロメノ・アレイショ・ダ・クルス特命全権大使が熊本YMCAを表敬訪問。今後の更なる協働を進めるべく、人材交流や東ティモールでの日本語事業について意見交換しました。また、期間中にはみなみセンターを訪問し、ぶどうの木幼児園園児の英語のあいさつに終始笑顔で応えていました。



駐日東ティモール 特命全権大使訪問

SDGsの学びとユースの体験共有

Global Workshop and Youth Meeting

6月9日(土)、上智大学の田中治彦教授(当時)による、SDGsワークショップを開催しました。学校関係者や学生ら参加者が、17の目標を示すアイコンを使って、発展途上国と熊本が抱える課題についてグループで話し合いました。

10月20日(土)、「ユースフェスタ」を実施し、西日本豪雨災害ボランティアに参加した学生をはじめ、タイ・ユース・ワークキャンプ、広島・国際青少年平和セミナー、ポニーキャンプなど9つのグループから発表がありました。国連が採択した継続可能な17の開発目標であるSDGsについてのワークショップもあり、これからの国際社会に求められる課題解決について学びの時間をもちました。



持続可能な開発目標・SDGs(エス・ディー・ジーズ: Sustainable Development Goals)は、SDGsの前身であるMDGs(ミレニアム開発目標)を継承し、日本を含む世界各国が合意した2030年までの国際目標です。2015年9月、国連で採択されました。

貧困問題をはじめ、気候変動や教育、エネルギーなど、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために17の目標と169のターゲットを掲げています。



海外からのボランティアツアー受入

International Disaster Relief Tours

2019年1月から2月にかけて、香港中華YMCA、台湾・台中YMCA、台湾・彰化YMCAから熊本地震支援のボランティアツアーを受入れました。阿蘇キャンプを拠点として取り組んだのは、被災した農家のビニールハウスの整備や地割れで手つかずの茶畑の草刈、阿蘇キャンプ整備など。また、ワーク以外にも、熊本の大学生や熊本YMCAの幼稚園・保育園の園児と仮設団地の住民との交流も行いました。



香港中華YMCA・台中YMCAボランティアワーク

日韓視覚障がい青少年交流プログラム

Japan - Korea Youth Exchange for Visually Impaired

1981年の第1回から37年目を迎えた韓国大邱の光明学校と熊本県立盲学校との「日韓視覚障がい青少年交流プログラム」を、7月30日(月)～8月2日(木)にワイズメンズクラブと協働で実施。アンサンブル演奏やギター・オカリナなどの音楽、卓球バレー等で交流を深めました。熊本の高校生ボランティアがショッピングに同行するなど、言葉の壁を越えた交流が行われました。



留学生が語るアフガニスタン

A students' Experience in Afghanistan

2019年1月7日(月)、熊本大学大学院に留学中のFatima Hosna Rasuli(ファティマ)さんがアフガニスタンの現状と未来について、上通センターで講話しました。

タリバンの支配下で女性は学校に行けず、自宅で母親による教育を受けたこと、到着する数分前に職場が爆撃に遭い、120名以上の同僚が死傷したなど深刻な体験を語りました。



熊本YMCA70周年式典

熊本YMCA 創立70周年記念感謝会

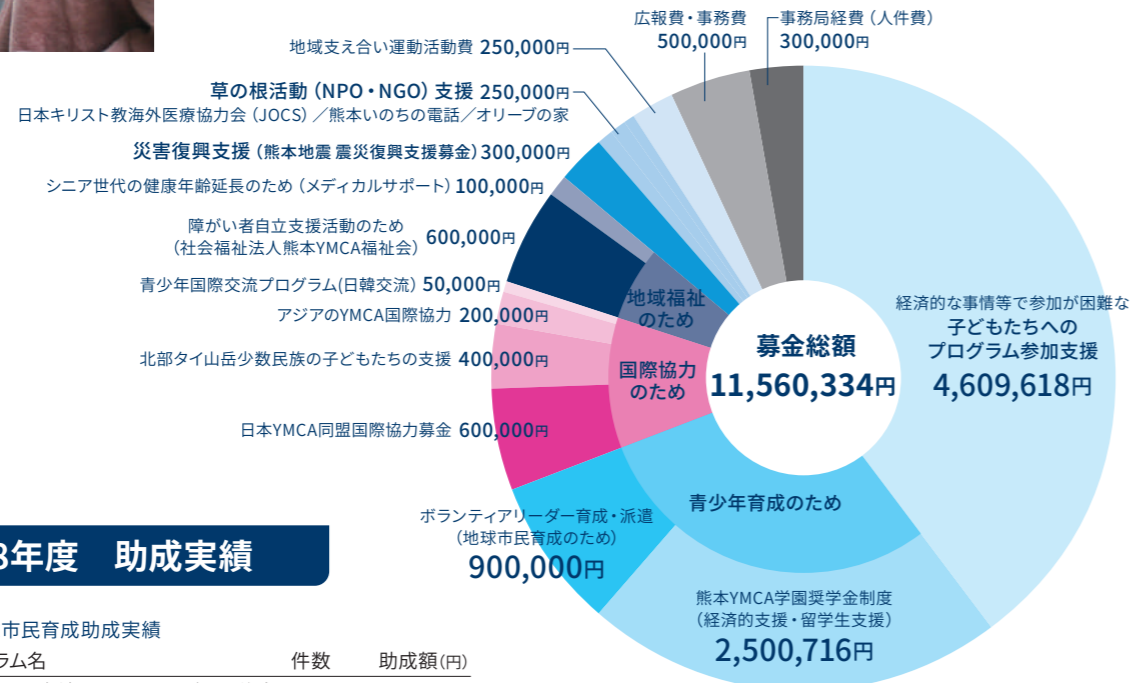
2018年10月8日(月)

熊本YMCA

ひとりがよくなると、 社会や世界はきっと変わる。



YMCAは平和を築くため、次代を担う子どもたちを育むため、募金活動に取り組んでいます。
2018年11月から2019年1月末までに実施した「熊本YMCA年末募金」では、11,560,334円の募金をお寄せいただきました。
12月2日(日)を中心に県内外15カ所で行った街頭募金活動では、幼児から大人までおよそ470名のボランティアやスタッフが心を一つに協力を呼びかけ、622,830円の募金が集まりました。様々な活動に皆さまの募金が役立っています。



2018年度 助成実績

●地球市民育成助成実績

プログラム名	件数	助成額(円)
第23回西日本地区YMCAリーダー研修会	3	22,680
第38回国際青少年平和セミナー	5	270,000
第23回タイ・ユース・ワークキャンプ	5	600,000
第49回全国YMCAリーダー研修会	1	55,920
第19回日本YMCA大会	3	90,582
English Camp for Global Leadership	3	160,601
第23回学生YMCAインド・スタディキャンプ	1	135,660
合計	21	1,335,443

●参加費減免実績

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	45	1,512,480
グローバル教育	1	14,550
YMCA学院	12	3,245,000
合計	58	4,772,030

地域センター	件数	助成額(円)
中央センター	3	109,920
みなみセンター	12	374,310
ながみねファミリーセンター	10	337,080
むさしセンター	21	705,720
YMCA学院 中央校舎	11	2,945,000
YMCA学院 東部校舎	1	300,000
合計	58	4,772,030

●参加費減免実績(シーズン)

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス(こども応援プロジェクト)	40	282,050
アフタースクール(こども応援プロジェクト)	2	19,800
指定管理自主事業	1	14,300
YMCA学院(熊本地震就学支援制度)	6	600,000
合計	49	916,150

地域センター	件数	助成額(円)
中央センター	15	191,950
みなみセンター	7	31,700
ながみねファミリーセンター	19	68,900
むさしセンター	1	9,300
御船町スポーツセンター	1	14,300
YMCA学院 中央校舎	5	500,000
YMCA学院 東部校舎	1	100,000
合計	49	916,150



熊本地震 震災復興支援募金

2016年7月から開始した「震災復興支援募金」には、1億7千万円もの募金が集まりました。熊本YMCAはこの募金を活用して、様々なストレスを抱え続ける子どもたち延べ541人にキャンプやスポーツの機会を提供したり、県外・海外から6,000人近いボランティアを受け入れるなど、支援活動を続けています。

こども応援プロジェクト助成実績

YMCAが実施するプログラムの参加費の半額を助成

プログラム	2017							計
	春	夏	冬	春	夏	冬	春	
スポーツ教室	337	32	8	7	16	2	4	406
キャンプ	100	10	5	5	7	3	3	133
学童保育				2				2
計	437	42	13	14	23	5	7	541

2017春: 罹災証明を受けた家庭が対象 2017夏~: 仮設住宅で生活する家庭が対象

●地球市民育成(ランゲージスクール学生受講料免除)

事業部門	件数	助成額(円)
グローバル教育	48	2,258,550
合計	48	2,258,550

地域センター	件数	助成額(円)
上通センター	39	1,875,620
みなみセンター	3	149,970
むさしセンター	6	232,960
合計	48	2,258,550

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	35	540,000
合計	35	540,000

地域センター	件数	助成額(円)
みなみセンター	13	211,680
むさしセンター	22	328,320
合計	35	540,000

●シニア世代の健康増進 メディカルサポート

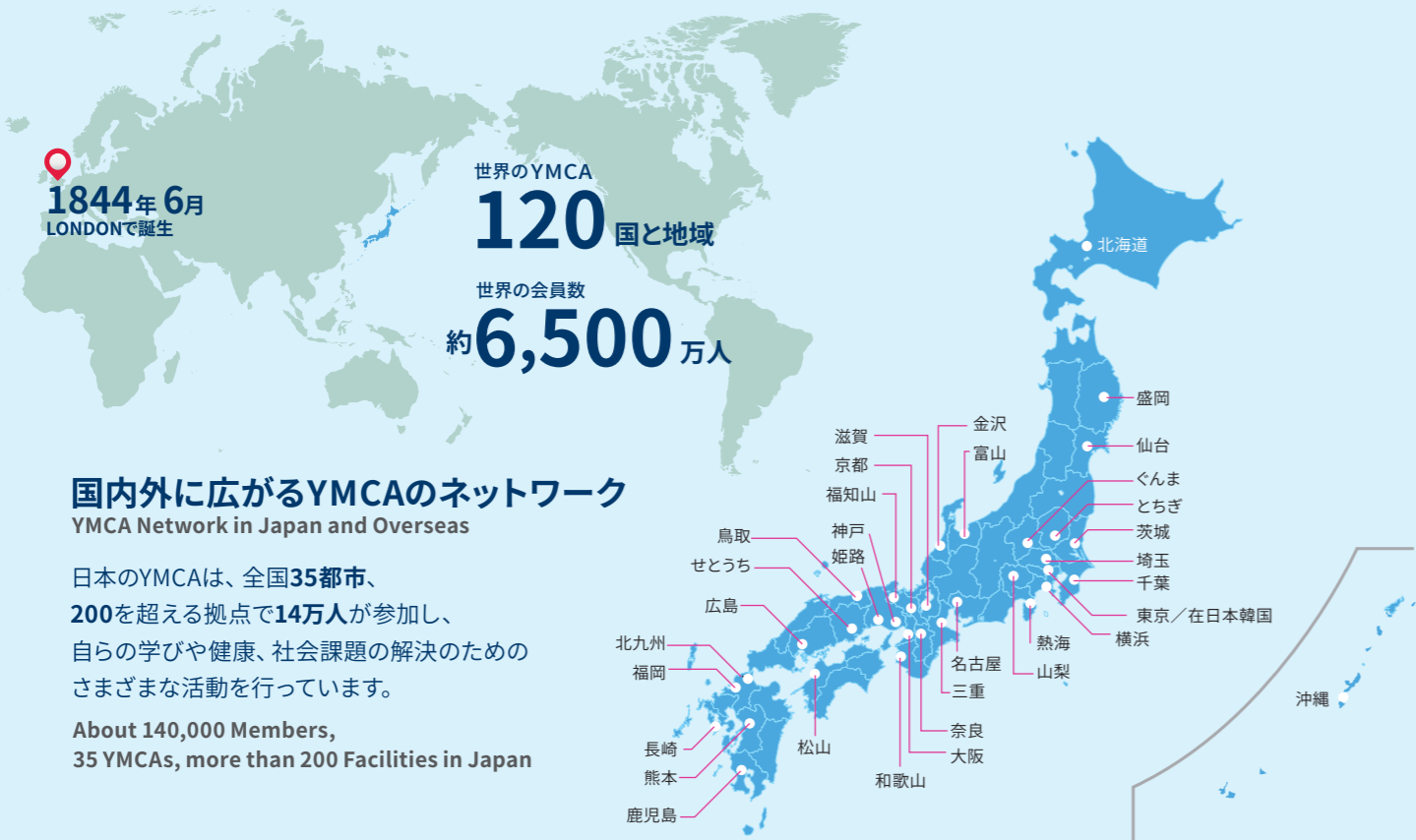
事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	35	540,000
合計	35	540,000

地域センター	件数	助成額(円)
みなみセンター	16	244,800
むさしセンター	19	295,200
合計	35	540,000

助成総計

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	120	2,334,530
グローバル教育	49	2,273,100
アフタースクール	2	19,800
指定管理自主事業	1	14,300
YMCA学院	18	3,845,000
地球市民育成助成	21	1,335,443
総計	211	9,822,173

地域センター	件数	助成額(円)
中央センター	18	301,870
上通センター	39	1,875,620
みなみセンター	35	767,660
ながみねファミリーセンター	29	405,980
むさしセンター	50	1,276,300
御船町スポーツセンター	1	14,300
YMCA学院 中央校舎	16	3,445,000
YMCA学院 東部校舎	2	400,000
地球市民育成助成	21	1,335,443
総計	211	9,822,173

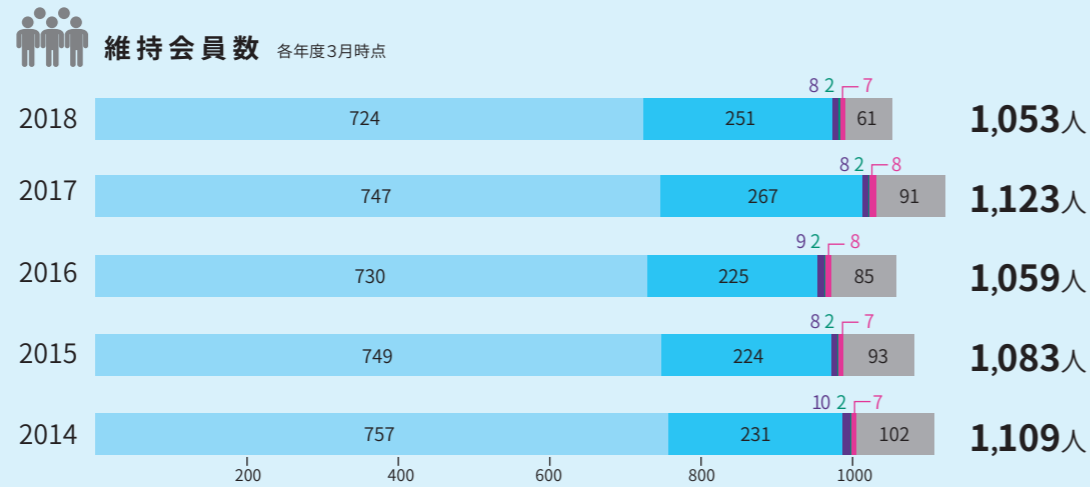


国内外に広がるYMCAのネットワーク
YMCA Network in Japan and Overseas

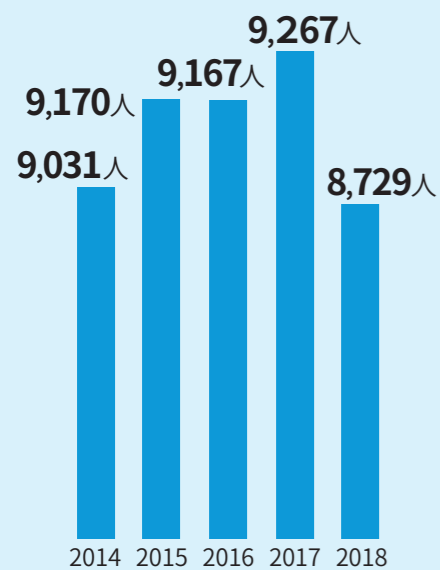
日本のYMCAは、全国35都市、
200を超える拠点で14万人が参加し、
自らの学びや健康、社会課題の解決のための
さまざまな活動を行っています。

About 140,000 Members,
35 YMCAs, more than 200 Facilities in Japan

統計
statistics



プログラム参加人数
各年度10月時点



定期プログラム参加者構成
2018年10月現在

部門\拠点	中央	みなみ	上通	東部	ながみね	むさし	水前寺幼稚園	熊五福幼稚園	社会福祉法人	合計
日本語科	-	-	13	-	-	-	-	-	-	13
成人語学	-	32	214	-	3	25	-	-	-	274
こどもえいご	86	267	-	-	181	176	-	-	-	710
ウエルネス・健康	292	2,323	-	-	2,001	2,146	-	-	-	6,762
ウエルネス・野外	10	15	-	-	11	13	-	-	-	49
アフタースクール	-	15	-	-	44	16	-	-	-	75
発達障がい支援	-	27	-	-	17	-	-	-	-	44
専門学校	159	-	-	141	-	-	-	-	-	300
放課後等デイサービス	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8
幼稚園	-	-	-	-	-	-	126	42	-	168
保育	-	67	-	-	-	-	-	-	-	67
保育園	-	-	-	-	-	-	-	-	259	259
合計	555	2,746	227	141	2,257	2,376	126	42	259	8,729

熊本YMCAの概況 Association Overview

2019年3月現在

会員

維持会員..... 1,053名

プログラム参加者

公益財団法人..... 7,761名
学校法人..... 476名
社会福祉法人..... 271名

役員・委員

熊本YMCA
常議員..... 30名
運営委員..... 130名

公益財団法人熊本YMCA
理事・監事..... 8名
評議員..... 10名

学校法人熊本YMCA学園
理事・監事..... 8名
評議員..... 13名

社会福祉法人熊本YMCA福祉会
理事・監事..... 9名
評議員..... 9名

職員

フルタイム職員..... 193名
パートタイム職員..... 99名

加盟関係

日本YMCA同盟 (東京)
アジア・太平洋YMCA同盟 (香港)
世界YMCA同盟 (ジュネーブ)

ワイズメンズクラブ

熊本ワイズメンズクラブ..... 25名
熊本ジェーンズワイズメンズクラブ..... 35名
八代ワイズメンズクラブ..... 8名
熊本むさしワイズメンズクラブ..... 24名
熊本みなみワイズメンズクラブ..... 23名
熊本ひがしワイズメンズクラブ..... 20名
宮崎ワイズメンズクラブ..... 21名
阿蘇ワイズメンズクラブ..... 22名
熊本にしワイズメンズクラブ..... 22名
熊本ネクススワイズメンズクラブ..... 10名
熊本スピリットワイズメンズクラブ..... 18名
熊本水前寺ワイズメンズクラブ..... 19名
熊本五福ワイズメンズクラブ..... 24名

2018年度熊本YMCA 役員・委員 Board and Committee Members

◎委員長 ○副委員長

組織	委員長	副委員長	理事	監事	評議員
公益財団法人熊本YMCA	岡 成也	中村賢次郎	加藤 國博	藤本猪智郎	立野 泰博
学校法人熊本YMCA学園	岡 成也	堀 雄二	亀浦 正行	田中 俊夫	井上 通彦
社会福祉法人熊本YMCA福祉会	岡 成也	藤崎 三郎	内村 優	橋本 朋子	栗原 正明
熊本YMCA常議員	岩本 悟	岩本 芳久	菅 正康	西川 晶子	藤本 義隆
中央運営委員会	◎岩本 悟	○朴 哲浩	西 章男	福田 綱	生駒 春美
上通国際交流運営委員会	◎前田香代子	○立野 泰博	清野 健	村田紀美子	和田 修一
みなみ運営委員会	◎森 博之	○佐藤 通彦	内村 忠生	中村 邦雄	高山 陽志
ながみね運営委員会	◎横田 博	○田上 裕章	柏原 芳則	平山 俊生	片山 隆
むさし運営委員会	◎藤本 義隆	○米村 謙一	高橋 良明	両角 彰則	山田 裕輝
阿蘇運営委員会	◎藤本猪智郎	○篠崎 泰子	園田 弘美	園田 弘美	竹原 憲朗
水前寺運営委員会	◎岩本 芳久	○山内 恵美	本田 光夫	山内 恵美	山下 知美
東部運営委員会	◎角本 浩	○加藤 國博	那須 久史	本堀 秀一	赤星文比古
リソース推進委員会	◎田中 吉岡	秋根 年子	田中 吉岡	久美	今村 秀夫
学校事業委員会	◎亀浦 正行	○水元 裕二	江口 清一	守田 義彦	木本 原志
ウエルネス事業委員会	◎守田 富男	有吉 亮	守田 富男	有吉 亮	岡崎 源次
グローバル事業委員会	◎吉本貞一郎	川上 安生	吉本貞一郎	川上 安生	坂本 美穂

みつかる。
つながる。
よくなっていく。

■ 中央センター

〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8 Tel 096-353-6391

■ 東部センター

〒862-0924 熊本市中央区帯山2-1-11 Tel 096-382-6661

■ みなみセンター

〒862-0962 熊本市南区田迎5-12-50 Tel 096-378-9370

■ ながみねファミリーセンター

〒861-8039 熊本市東区長嶺南3-1-107 Tel 096-385-0676

■ むさしセンター

〒861-1112 合志市幾久富1866-1339 Tel 096-248-6334

■ 阿蘇キャンプ

〒869-2234 阿蘇市車帰358 Tel 0967-35-0124

(指定管理施設)

■ 御船町スポーツセンター

〒861-3204 上益城郡御船町木倉1176-1 Tel 096-282-4111

■ 益城町総合運動公園

〒861-2242 上益城郡益城町木山236 Tel 096-289-2433

■ 玉名市桃田運動公園

〒865-0023 玉名市大倉1144 Tel 0968-75-1314

■ 大牟田市立多目的活動施設 リフレスおおむた

〒837-0901 福岡県大牟田市大字四ヶ1221 Tel 0944-58-7777

■ 熊本YMCA学院

〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8 Tel 096-353-6393

■ YMCA水前寺幼稚園

〒862-0941 熊本市中央区出水3-12-1 Tel 096-362-4141

■ YMCA熊本五福幼稚園

〒860-0031 熊本市中央区魚屋町1-9 Tel 096-352-2981

■ 放課後等デイサービス YMCA自由なイルカたち

〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8 Tel 096-353-6391

■ YMCA尾ヶ石保育園

〒869-2235 阿蘇市狩尾1798-9 Tel 0967-32-0213

■ YMCA赤水保育園

〒869-2232 阿蘇市赤水846-56 Tel 0967-35-0024

■ YMCA永草保育園

〒869-2231 阿蘇市永草2904-1 Tel 0967-32-0810

■ YMCA黒川保育園

〒869-2225 阿蘇市黒川11708-1 Tel 0967-34-0402

■ 熊本YMCA就労支援センター

〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8 Tel 096-312-1333

■ 本部事務局

〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8 Tel 096-353-6397